

米子市立山陰歴史館

平成 29 年度事業報告
平成 30 年度事業計画(案)

平成 30 年 (2 0 1 8) 3 月

平成29年度事業報告

2月末現在

事業名		開催日	内容/入館者数等	
鑑賞事業	常設展 米子城物語、米子の農家の昔の暮らし、昭和の小学校、昔の道具、明治5年の米子のまち絵図、太平洋戦争中の米子 ほか	通年	米子の古代から現代までの通史を展示する。各部屋の展示を巡ることで、当時の生活の様子を感じる機会を提供した。9,300人	
	米子の神社 ～米子指定有形文化財を中心に～	4/29 (土・祝)～ 5/28 (日)	米子市内の神社が所有する米子市指定文化財をご覧いただく機会を提供した。670人	
	夏の風物詩 ～館蔵品を中心に～	6/18 (日)～ 8/27 (日)	「夏」にまつわる道具や写真、祐生出合いの館所蔵の明治から昭和初期の飲料水のポスターなどをご覧いただく機会を提供した。852人	
	昭和のよなご - 其の一 -	9/24 (日)～ 11/26 (日)	終戦までの昭和のよなごを、資料や写真などで振り返る機会を提供した。1,000人	
	2018伯耆国「大山開山1300年祭」 ふるきよき時代 ～館蔵品写真 P遠h澤o利t寛o～	12/10 (日)～ H30.1/21 (日)	遠澤利寛寄贈の写真フィルムなどを通して、昭和30年代から40年代の各地の風物をご覧いただく機会を提供した。506人	
	天神さん	H30.2/18 (日)～ 3/18 (日)	山陰地方で作られていた、倉吉・御来屋・米子・松江・出雲土天神人形を展示し、其の歴史や特徴を紹介する機会を提供した。349人	
	平成29年度文化庁文化芸術振興費補助金 第6回米子歴史絵巻 伊勢大神楽	9/2 (土)	身近にある史跡の情報発信をおこない、史跡を活用した観光情報の発信に繋げる機会を提供した。370人	
	米子市公会堂市民交流事業 第73回米子市秋の文化祭参加事業 とっとり県民カレッジ連携講座 高木東六の世界	10/21 (土)	米子市出身の音楽家「高木東六」没後十周年の事業として、その足跡を音楽と講演、展示で紹介し、高木東六について学ぶ機会を提供した。[400人]	
	教育普及事業	講演会・講座・ワークショップなど 「米子の神社 ～米子指定有形文化財を中心に～」関連事業 講演「神話と神社と祭りのイ・ロ・ハ ～古代出雲の文化に照らして～」	5/27 (土)	企画展「米子の神社」の関連事業として、神話と神社と祭りについて学ぶ機会を提供した。120人
		鳥取県ミュージアム・ネットワーク連携事業 史料が語る 鳥取の歴史 「中村記」を読む	H30.2/17 (土) H30.2/24 (土) H30.3/3 (土)	米子城初代城主中村氏の歴史が記された書物を基に、米子城と中村氏について学ぶ機会を提供した。32人
第44回 郷土の歴史教室 大山の歴史を知り・学び・体験する夏休み歴史教室		7/26 (水)～ 7/27 (木)	大山開山1300年を前に、大山で宿泊体験をしながら自然の中で大山の歴史について学ぶ機会を提供した。41人	
民話の部屋		通年	地方に残る方言で語られるむかし話を楽しむ機会とした。70人	
学校・公民館対応/出前講座など		通年	福米西小学校3年生「昔の道具の話し」出前事業。107人 ※淀江文化センターと連携して実施	
体験学習受け入れ		通年	米子市内外の小学校3年生及び中学生を受け入れた。 [17校/764人]	
博物館実習・職場体験受け入れ		通年	[3件/13人]	
米子市文化財団連携事業 お仕事チャレンジ大作戦！司書・学芸員コース		8/18 (金)	財団の管理・受託施設が連携をし、事業をおこなった。20人	
米子市文化財団連携事業 米子市文化財団フェスティバル 当財団管理施設パネル展示		11/3 (金・祝) 10/28 (土)～11/5 (日)	財団の管理・受託施設が連携をし、事業をおこなった。 児童文化センターでの展示。※1,081人	
活用資料の保存・情報提供 調査・整理・研究・保管		通年	資料の調査・整理・研究をし、その成果を発表した。 資料の目録作成をおこなった。	
鳥取県史編さん事業 古文書解読ボランティア月例会 資料貸出			鳥取県史編さん資料解読の事業支援をおこなった。82人 資料の貸出をおこなった。 [59件/268点]	
歴史館だよりの発行/ホームページの作成・更新 問合せ対応			歴史・資料の紹介やイベント情報の提供などをおこなった。 米子市史などの問い合わせに対応し、情報の提供をおこなった。	
友の会の運営/鳥取県中部歴史研修会			11/22 (水)	会の運営の手助け、研修会の実施など。14人
図書等販売/紀要の発行など	通年	委託図書・図録・紀要などの販売をおこない収入の一助とした。		
合 計 []の重複観覧者数、※印の人数は除く			2月末現在の観覧者総数 13,533人 内:企画展観覧者数3,377人	

平成30年度 米子市立山陰歴史館事業計画書（案）

1 基本方針

(1) 個性あふれる利用しやすい施設づくり

建築物がもつ歴史的景観や価値の情報発信と、市民が集える場の提供を行いながら若年層にも利用してもらいやすい施設づくりを目指す。

(2) 郷土の歴史・民俗資料を中心とする整理、調査研究、保管活用の充実

収集資料の体系的な整理への取り組みを行い、事業企画や情報発信に活用できる研究成果の積み重ねに努める。

(3) 子どもたちに地域の歴史への興味と関心をもたせる展示や活動に努める。

2 重点施策

(1) 山陰歴史館所蔵の資料整理及び調査研究、資料活用の推進

資料整理や研究に取り組み、その成果を常設・企画展示事業に反映させながら、歴史的資料の開示や情報発信に取り組むと共に、企画展の『図録』発行を継続して行うことで、貸出に対応する活用資料の蓄積を図る。

(2) 歴史館を活用した参加型の協働事業の推進

ほうき民話の会・米子下町観光ガイド、企画展示事業を通じて連携する諸団体、鳥取県ミュージアム・ネットワークに加盟する歴史関連施設などとの協力・協働をとおして、活動の紹介や発表の場の提供、体験型参加事業、教育普及事業を行う。

(3) 利用者サービスの向上

米子市史関連資料の問合せや館蔵資料の閲覧・貸出などに随時対応し、郷土の歴史に係る情報の提供や情報交換の場の提供を行う。

(4) 財団内で連携した事業展開

当財団の各専門分野の職員間で連携し、幅広い事業展開を行う。

(5) 歴史館の館蔵資料並びに展示で作成したパネルなどの貸出

地域で米子の歴史にふれる機会の提供を行う。

3 主要事業

区分	事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施日	備考
鑑賞事業 [常設展] [企画展]	民話の部屋 昔の暮らし展 小企画展 「杉本良巳の 足跡をたど る」ほか	近現代の歴史をとおして、 人々の暮らしの様子を紹介す る。また、小企画展で元館 長 杉本良巳の足跡を紹介 する。 入場料無料	通年 随時展示替	
	大山開山 1300 年開 連事業 大山の歴史 (仮称)	大山開山 1300 年に因んで、 大山信仰や大山寺に関連し た資料を展示し、概要を紹 介する。 入場料 300 円	4 月 29 日 (日・祝) ～ 7 月 1 日 (日) (開催期間の延長 を検討中)	関連事業として講演 会を実施。
	館蔵品展 I	寄贈された資料の中から、 戦争関連資料を紹介する。 入場料無料	8 月 5 日 (日) ～ 9 月 24 日 (月・祝)	
	米子城の活用関連 事業 米子城 (仮称)	国史跡「米子城」関連資料 の活用を図りながら、米子 城の歴史を紹介する。 入場料 300 円	10 月 7 日 (日) ～ 11 月 25 日 (日)	
	館蔵品展 II	寄贈された資料を紹介す る。 入場料無料	12 月 9 日 (日) ～ H31/1 月 20 日 (日)	
	明治 150 年関連事業 明治 150 年 (仮称)	明治 1 5 0 年に関連した資 料を紹介する 入場料 300 円	H31/2 月 10 日 (日) ～ 3 月 24 日 (日)	関連事業として講演 会を実施。
	[連携事業]	第 7 回 米子歴史絵巻 「新田 人形 浄瑠璃 芝居 相生文楽」	米子市指定文化財である 山陰歴史館 (歴史的遺産) を活用して、県内の伝統芸 能 (民俗) を紹介する。 入場料無料	12 月 1 日 (土)
教育普及 事業	講演会	企画展「大山の歴史 (仮称)」 関連の講演会を実施。 入場料無料	6 月 10 日 (日)	場所：米子市文化ホ ール研修室 講師：山陰歴史館 館長 国田俊雄
	講演会	企画展「明治 150 年 (仮称)」 関連の講演会を実施。 入場料無料	調整中	場所：調整中 講師：鳥取大学地域 文化学科教授 岸本 覚

区分	事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施日	備考	
教育普及 事業	講座 『米府鬼話』を 読む	『米府鬼話』を読み解き、当 時の米子の歴史を学ぶ。 参加料無料 (50人×3回)	9月15日(土) 9月29日(土) 10月20日(土)	場所:米子市旧庁舎 603 講師:山陰歴史館 館長国田俊雄	
	第45回郷土の 歴史教室	子どもたちに郷土の歴史を 知る機会の提供を図る。 参加料有	7月30日(月) (予定)	共催:米子錦ライオ ンズクラブ・ 米子市教育委 員会	
	民話のへや	民話語りと歴史館資料の紹 介・解説を行う。	通年	共催:ほうき民話の 会	
	学校・公民館 対応など	郷土の歴史への知識を深め る機会を提供する。	申込随時		
	学校への 出前講座	郷土の歴史への知識を深め る機会を提供する。	通年		
	館内体験学習 学芸員研修受入	社会科校外学習受入など。	申込随時		
	当財団施設 連携事業	米子市と協力して、財団の 管理・受託する施設が連携 して事業を実施する。	未定		
	資料の調査・整 理・研究・保管	資料の調査研究の成果を 『歴史館紀要』に発表する。	通年		
	[資料の保存 ・活用]	資料貸出	素鳳コレクションの貸出。 学習資料などの貸出。	通年	
		古文書解読	古文書解読の学習の場の提 供と解読者の育成を図る。	通年	共催:鳥取県立博物 館
[情報提供]	問合せ対応	県内外からの問合せに対応 し、歴史情報を提供する。	随時		
	歴史館だより の発行	歴史館の展示情報などを提 供する。	随時		
	ホームページ	展示事業の紹介・更新	随時		
	友の会の運営	会の運営の手助けを行う。	随時	共催:歴史館友の会	
	図書等販売	委託図書などの販売	通年		

米子市埋蔵文化財センター・米子福市考古資料館

平成29年度事業実施報告 ・ 平成30年度事業実施計画(案)

目 次

I 米子市埋蔵文化財センター・米子福市考古資料館の概要

- 1 米子市埋蔵文化財センター施設概要
- 2 米子市福市考古資料館施設概要
- 3 管理組織
- 4 平成29年度埋蔵文化財センター・福市考古資料館事業計画

II 平成29年度実施事業の概要

- 1 展示事業
- 2 教育普及事業
- 3 情報発信事業
- 4 調査研究・収蔵保管事業
- 5 資料館・センター利用事業
- 6 業務日誌抄録

事業実績一覧

III 平成30年度埋蔵文化財センター・福市考古資料館事業計画(案)

- 1 基本方針
- 2 重点施策
- 3 主要事業計画



米子市埋蔵文化財センター・米子福市考古資料館

I 米子市埋蔵文化財センター・米子市福市考古資料館の概要

1 米子市埋蔵文化財センター施設概要

- (1) 名 称 「米子市埋蔵文化財センター」
- (2) 設置目的 埋蔵文化財保護と活用を図り、郷土の歴史に関する理解を深め、市民の文化的向上に資するため設置する。
- (3) 設置場所 鳥取県米子市福市281番地
- (4) 施設設備 鉄筋コンクリート造3階建（旧日新小学校改装） 延床面積2,720㎡
展示室1室・資料閲覧室1室・書庫1室・木器保存処理室1室・写場1室・調査研究室1室・資料整理室2室・土器洗浄室1室・木器收藏室2室・体験学習室1室・研修室1室・調査資料保管室1室・特別收藏室1室・出土品收藏室10室
- (5) 設置年月日 平成22年4月15日
- (6) 開館日及び閉館日並びに開館時間 開館日 月曜日～金曜日
開館時間 午前9時～午後5時
閉館日 土、日、祝日及び年末年始の休日



米子城関係遺物の展示



米子城瓦の整理

2 米子市福市考古資料館施設概要

- (1) 名 称 「米子市福市考古資料館」
- (2) 設置目的 郷土の歴史に関する市民の知識及び教養の向上に資するため設置する。
- (3) 設置場所 鳥取県米子市福市461番地-20
- (4) 施設設備 鉄筋コンクリート造1階建
延床面積150㎡
展示室1室・研修室1室・事務室1室
外倉庫1室
- (5) 設置年月日 昭和55年10月6日
- (6) 開館日及び閉館日並びに開館時間 開館日 水曜日～月曜日
開館時間 午前9時30分～午後5時
閉館日 火、祝日の翌日及び年末年始の休日



カマド資料の展示

3 管理組織

(1) 指定管理者 一般財団法人米子市文化財団

(2) 職員配置

米子市埋蔵文化財センター 館長 1 名 学芸員 1 名 (兼務) (補助として一財・米子市文化財団埋蔵文化財調査室職員 1 名、事務員 1 名が兼務)

米子市福市考古資料館 館長 1 名 (兼務) 学芸員 1 名 (兼務) 受付管理員 2 名

在職者名簿

米子市埋蔵文化財センター		米子市福市考古資料館	
館長	小原貴樹 (非常勤)	館長	小原貴樹 (非常勤)
学芸員	高橋浩樹 (調査室兼務)	学芸員	平木裕子 (調査室兼務)
学芸補助	佐伯純也 (調査室兼務)	受付・管理	木下 和則 (臨時職員)
事務補助	田中昌子 (調査室兼務非常勤)	受付・管理	門脇 威 (臨時職員)

4 平成 29 年度 埋蔵文化財センター・福市考古資料館事業計画

(1) 基本方針

- ①福市考古資料館および埋蔵文化財センターの基本機能の充実を図る。
- ②原始・古代への関心を高める為の福市考古資料館の適切な管理に努める。
- ③史跡環境を活かした福市考古資料館と埋蔵文化財センターの管理に努める。
- ④情報発信とネットワーク化の推進を図る。

(2) 重点施策

①原始・古代史を学ぶ機会の提供

ア 米子市等の考古資料を展示する常設展・企画展を企画・開催し原始・古代への関心を高める。 イ 講座や外部講師による講演会の実施によって原始・古代への興味と関心を高める。 ウ 市内外の史跡のガイドウォークの実施によって身近な郷土の歴史への興味と関心を高める。 エ 体験教室・出前講座をとおして、「見て」「触れて」「作って」古代への興味・関心を高める。

②埋蔵文化財資料の整理・保管・調査研究

ア 米子市が所蔵する考古資料や記録類の適切な整理・保管を行い、良好な状態で次世代に継承するとともに、広く活用できるよう調査・研究に努める。 イ 未報告資料や寄贈資料を整理し、整理報告書として刊行する。

③情報の発信

ア 発掘調査や研究の成果をふまえ、米子市等の原始・古代の最新情報を発信する。
イ 遺跡情報をわかりやすいシートやリーフレットにして配布する。

④連携事業の促進

ア より多くの人に関心を持ってもらうために、当財団の各施設をはじめ、歴史関係施設との連携事業を展開する。
イ 山陰歴史館、上淀白鳳の丘展示館、むきばんだ史跡公園との連携を深める。
ウ 鳥取県ミュージアムネットワークへ加盟して、県内施設との連携を深める。

(3) 平成 29 年度主要自主事業計画

	事業名	目的・内容	実施時期・回数
展 示	常設展示「米子の原始・古代」 (福市考古資料館)	米子の遺跡から出土した考古資料を展示し、原始・古代の姿の理解を深める。	通年
	企画展示「弥生時代の米子」 (福市考古資料館)	弥生時代遺跡を紹介するとともに、出土した遺物を展示して弥生時代の米子の歴史を振り返る。	年 1 回 10～11 月
	常設展示「米子の遺跡と発掘」 (埋蔵文化財センター)	出土品の展示と、発掘方法の展示を通して米子の原始・古代の歴史や文化財保護への理解を深める。	通年
教 育 普 及	現地ウォーク「福市・青木遺跡を歩く」(埋蔵文化財センター)	福市・青木遺跡を巡り、福市考古資料館の見学解説を行う。	年 1 回 春
	現地ウォーク「伯耆町の遺跡を歩く」(埋蔵文化財センター)	伯耆町の大寺廃寺から長者屋敷遺跡まで、歩いて巡る。	年 1 回 秋
	考古学講座講演会 1 「農耕社会の始まり」	講師に鳥取県埋蔵文化財センターの君島氏を迎えて講演会を行う。	年 1 回 9 月
	考古学講座講演会 2 「弥生時代の家」	講師に鳥取県埋蔵文化財センターの馬路氏を迎えて講演会を行う。	年 1 回 10 月
	考古学講座講演会 3 「弥生時代のお墓」	講師に鳥取県埋蔵文化財センターの長尾氏を迎えて講演会を行う。	年 1 回 11 月
	考古学教室「勾玉作り」ほか	勾玉づくり、火起こしの学習をする。	年 2 回
	勾玉・石包丁・土笛づくり	希望する団体や来館者の体験学習	随時
	出前講座・学習受入	学校・公民館への遺跡解説と体験学習	随時
調 査	資料の調査・研究、整理・保管・貸出管理	収蔵資料、寄贈資料の調査研究・整理貸出・閲覧	通年
情 報 発 信	「埋蔵文化財センターたより」などの発刊	調査情報、収蔵品の紹介、資料館行事などの情報提供	年 4 回
	施設情報の提供	ホームページなどを活用した行事等の施設情報の提供	通年
連 携	財団施設連携事業	山陰歴史館との連携企画	年 1 回

II 平成29年度実施事業の概要

1 展示事業

- (1) 埋蔵文化財センター常設展「米子の遺跡と発掘」
期 間 平成29年4月1日～平成30年2月28日
担当者 高橋浩樹 観覧者 (355人)
- (2) 福市考古資料館常設展示「米子の原始・古代」
期 間 平成29年4月1日～平成30年2月28日
担当者 平木裕子 観覧者 (1,557人)
- (3) 福市考古資料館企画展示「弥生時代の米子」
期 間 平成29年10月4日～11月27日
担当者 高橋浩樹 観覧者 (285人)



福市考古資料館企画展

2 教育普及事業

- (1) 遺跡ガイドウォーク
「福市・青木遺跡を歩く」
実施日 4月30日(日) 参加者 (19人)
場 所 福市・青木遺跡 講師 小原貴樹 高橋浩樹
- (2) 史跡ガイドウォーク
「大寺・坂長の史跡を巡る」



福市・青木遺跡ガイドウォーク

- 実施日 11月12日(日) 参加者 (14人)
- 場 所 伯耆町 講師 高橋浩樹 秦美香
- (3) 考古学講演会1
テーマ 「発掘調査から見てきた弥生時代の青谷上寺地遺跡」
場 所 米子市文化ホール研修室
実施日 9月30日(土) 参加者 (33人)
講 師 鳥取県埋蔵文化財センター 大川泰広



考古学講演会1

- (4) 考古学講演会2
テーマ「米子の弥生時代を探る—
弥生集落の発掘調査」
場 所 米子市文化ホール展示室
実施日 10月28日(土) 参加者 (34人)
講 師 鳥取県埋蔵文化財センター 枅家 豊
- (4) 考古学講演会3
テーマ「米子の弥生時代を探る—
お墓から探る社会と変化」
実施日 11月25日(土) 参加者 (42人)
講 師 鳥取県埋蔵文化財センター



考古学講演会3

陶澤真梨子

(5) 考古学教室

①内 容 「勾玉づくり・火起こし・弓矢」
場 所 福市考古資料館
実施日 8月5日(土)参加者(8人)
8月6日(日)参加者(2人)
講 師 高橋浩樹 門脇威 木下和則



考古学教室学習風景

(6) 出前講座・ガイド「古代体験学習」

①米子市なかよし学級へ出前講座
(米子市教育委員会共催)

勾玉づくり・火起こし・弓矢体験

7月24日(月)	成実なかよし学級	18人
7月28日(金)	福生西なかよし学級	28人
8月1日(火)	彦名なかよし学級	33人
	崎津なかよし学級	41人
8月2日(水)	福生東なかよし学級	32人
	五千石なかよし学級	29人
8月3日(木)	福米西なかよし学級	32人
8月4日(金)	淀江なかよし学級	60人
8月9日(水)	義方なかよし学級	33人
8月10日(木)	就将なかよし学級	29人
8月16日(水)	弓ヶ浜なかよし学級	16人
8月17日(木)	箕蚊屋なかよし学級	30人
8月18日(金)	和田なかよし学級	23人
8月21日(月)	河崎なかよし学級	28人



なかよし学級出前風景

大篠津なかよし学級	12人
啓成なかよし学級	25人
尚徳なかよし学級	19人
明道なかよし学級	22人
伯仙なかよし学級	22人
加茂なかよし学級	27人
車尾なかよし学級	39人

合計 21学級 598人

担当 (米子市教委) 下高瑞哉 中原康介 濱野浩美 三上洋子 (埋文センター) 佐伯純也 高橋浩樹 小原貴樹 (埋文調査室) 秦美香 永登朋子 青砥千秋 石田直美 林原明美 小椋京子 小椋知子 塚田芙美子 (福市資料館) 平木裕子 門脇威 木下和則

(7) 連携事業

①米子市文化財団連携

ア「お仕事チャレンジ大作戦」(学芸員コース)

場 所 米子市立図書館
実施日 8月18日(金) 参加者 (20人)
講師 高橋浩樹 石田直美

イ「米子市文化財団フェスティバル」

場 所 米子市児童文化センター
実施日 11月3日(金) 参加者 (125人)



米子市文化財団フェスティバル

②上淀白鳳の丘展示館連携

「彼岸花まつり」 彼岸花の里づくりプロジェクト実行委員会主催

場 所 上淀廃寺 設営、物販協力等を行った。

実施日 9月23日(土)

9月24日(日) 来場者(1,200人)

③米子市教育委員会連携

「山陰三城跡シンポジウム」米子市教育委員会主催
関連書籍等販売協力等を行った。

場 所 米子市文化ホール

実施日 11月11日(土) 参加者(500人)



上淀彼岸花祭り

3 情報発信事業

(1) 埋蔵文化財センターたよりの発刊

発掘調査の情報、遺跡紹介など年4回の発行を行う。(第25号～27号 28号3月予定)

(2) 埋蔵文化財センター・福市考古資料館ホームページ

施設情報や行事情報、米子市とその周辺の遺跡紹介をインターネットホームページに掲載し情報発信した。

4 調査研究・整理・収蔵保管事業

(1) 調査研究

歴史館旧蔵資料、米子城資料などについて調査を実施した。

(2) 整理作業

①遺物の整理及び収納保管

寄贈資料や過去の調査資料などの旧蔵資料を整理し収納した。(鮎ヶ口遺跡など)

②写真記録のデジタル化

発掘調査写真類のデジタル化を行った。

③書整理保管 寄贈図書について整理した。



旧蔵資料の整理

5 資料館・センター利用事業

(1) 施設視察見学

①永江青雲大学の視察研修

日時 4月24日(月) 29人

②五千石公民館の視察研修

日時 5月23日(月) 15人

③岡山大学考古学教室学生研修

日時 9月21日(月) 15人



永江青雲大学の視察研修

(2) 施設利用

①学校利用

尚徳小学校3年生の古代学習を受入れ、また体験学習を実施した。

○古代学習

実施日 6月13日(火) 児童ほか(31人)

担当者 高橋浩樹

○体験学習

実施日 6月22日(木) 児童ほか(31人)

担当者 高橋浩樹 小原貴樹 門脇威

②地域利用

P A J A学童保育の小学生「勾玉づくり」

実施日 8月16日(水) 参加者(6人)

担当者 佐伯純也 門脇威

③研究会・講座利用

山陰中世土器検討会

実施日 8月16日(水) 参加者(41人)

担当者 佐伯純也

④職場体験

米子松蔭高校、米子南高を各3日間、岡山理科大学学生を10日間、埋蔵文化財職場のインターンシップで受け入れた。

(3) 資料利用 (別紙一覧表)

①収蔵品の貸出利用

鳥取県立博物館、上淀白鳳の丘展示館、伯耆文化研究会へ収蔵品を貸し出した。

②収蔵品実測・熟覧等の利用件数

広島大生、鳥取大生、立命館大生、パリ大学院生、島根大学准教授、東京芸大教授、出雲弥生の森博物館館長などが来館し、収蔵資料の実測、閲覧等の利用があった。

③写真等資料の貸出利用件数

「目の眼」「宝島社」などの出版社や「テレビ東京」等への遺物写真の提供を行った。

⑤ 図書の閲覧・貸出利用

市民、研究者などによる収蔵の調査報告書や考古学研究刊行物の貸出・閲覧があった。



尚徳小学校の古代体験学習



山陰中世土器検討会



米子南高生のインターンシップ



パリ大学院生の資料調査

6 業務日誌抄録

- 4月14日(金) 米子西高校が福市公園へ来園。
- 4月20日(木) 米子東高校が福市公園へ来園。
- 4月24日(月) 永江公民館青雲大学がセンターの視察研修で来館された。
- 4月28日(金) 米子南高校が福市公園へ来園。
- 4月30日(日) 米子つつじまつりが開催された。福市・青木遺跡ガイドウォークを開催した。
- 5月8日(月) 東京芸大松田教授他が上淀廃寺壁画調査で来館された
- 5月10日(水) 広島大学院生が弥生式土器資料の調査で来館された。
- 5月23日(火) 五千石公民館が研修講座で来館。
- 6月13日(火) 尚徳小学校3年生が古代学習で来館した。
- 6月16日(金) 国学院大生の鈴野氏が子持勾玉の調査で来館した。
- 6月19日(月) 木更津市の宮代氏が縄文資料調査で来館された。
- 6月20日(火) 米子松蔭高校生徒がインターンシップで22日まで来館した。
- 6月22日(木) 尚徳小学校3年生が古代体験学習で来館した。
- 6月28日(水) 米子南高校生徒がインターンシップで30日まで来館した。
- 7月4日(火) 双子勾玉写真を目の眼出版へ貸出。
- 7月7日(金) 出雲弥生の森博物館の花谷氏が馬具調査で来館した。
- 7月10日(月) 鳥取県教育文化財団の河合氏・水村氏が凸帯文土器調査で来館した。
- 7月24日(水) なかよし学級への出前講座を開始した。
- 8月16日(水) パジャ学童保育が勾玉づくりで来館した。
- 8月18日(金) 米子市文化財団連携事業『お仕事チャレンジ大作』を実施した。
- 9月5日(火) 香川県埋蔵文化財センターの蔵本氏が腰帯具の調査で来館した。
- 9月21日(木) 岡山大学考古学研究室の教授学生が視察研修で来館した。
- 9月30日(土) 第1回考古学講演会を開催した。
- 10月4日(水) 企画展「弥生時代の米子」を開始した。
- 10月6日(金) 群馬県の竹政氏が福市遺跡の舟形土器の調査で来館された。
- 10月28日(土) 第2回考古学講演会を開催。
- 11月3日(金) 米子市財団文化財団フェスティバルへ火起し体験ブースを出店した。
- 11月12日(日) 史跡ガイドウォーク「大寺、坂長の史跡を巡る」を開催した。
- 11月25日(土) 第3回考古学講演会を開催。
- 11月29日(木) 文化庁立石調査官が上淀廃寺壁画資料の調査で来館された。
- 11月30日(水) 島根大学の岩本准教授が古鏡資料の調査で来館された。
- 12月13日(水) 鳥取県博の酒井学芸員が瓦経資料の借用で来館された。
- 12月16日(土) 山陰中世土器検討会が研修室で開催された。
- 1月10日(水) 井上貴央先生が出土人骨の整理で来館された。
- 1月23日(火) 東大留学生アキアン・ミリアン氏(パリ大学院生)が文化財保護資料調査で2月9日まで来館して調査された。
- 2月1日(木) 岡山理科大生、平山氏がインターンシップで16日まで来館した。
- 2月20日(木) ミュージアムネット総会へ平木副館長が出張した。鳥取県文化財保護担当者会へ佐伯統括が出張した。

平成29年度米子市埋蔵文化財センター・福市考古資料館事業実績一覧

2018年2月28日 現在

事業名	日時	人数	件	内 容
福市考古資料館常設展	通年	1,557	1	米子の原始古代遺跡・遺物の展示
福市考古資料館企画展	10/4～11/27	285	1	「弥生時代の米子」
埋蔵文化財センター常設展	通年	355	1	「米子の遺跡と発掘」
史跡ガイドウォーク①	4/30	19	1	福市・青木遺跡を歩く
史跡ガイドウォーク②	11/112	14	1	大寺・坂長の史跡を巡る。
考古学講演会①・②・③	9/30 ほか	109	3	専門研究者を招聘して開催した。
考古学教室①・②	8/5 ほか	10	2	「勾玉づくり」ほか
出前講座(なかよし学級)	7/24 ほか	598	21	淀江なかよし学級ほか
文化財団施設連携事業	11/3 ほか	145	2	財団フェスティバルほか
上淀白鳳の丘展示館連携	9/23 24	(1,200)	1	彼岸花まつり
米子教育委員会連携事業	11/11	(500)	1	山陰三城シンポジウム
学校・地域連携古代学習	6/13 ほか	66	2	尚徳小3年生
地域利用	8/16 ほか	35	2	P A J A学童保育等
研究会利用等	12/16 ほか	51	11	山陰中世土器検討会ほか
職場体験	6/20 ほか	22	16	高校生ほかインターンシップ
学習利用	4/25 ほか	545	3	五千石小ほか
収蔵品資料貸出利用	10/4 ほか	13	12	鳥取県立博物館ほか
収蔵品実見等研究利用	4/15 ほか	40	32	学生卒論、博物館、研究会ほか
図書閲覧・貸出	6/24 ほか	10	10	45冊
センターたよりの発行	6/30 ほか	—	3	第25号～27号
刊行物の発刊	3/31	—	2	ペパクラ米子城ほか
計		5,574		共催・連携事業を含む
		(1,700)		()内他団体連携事業

Ⅲ 平成30年度 埋蔵文化財センター・福市考古資料館事業計画（案）

1 基本方針

- (1) 埋蔵文化財センターと福市考古資料館の基本機能の充実と良好な管理を図る。
- (2) 原始・古代への関心を高めるための福市資料館の管理の充実を図る。
- (3) 史跡環境を生かした福市考古資料館と埋蔵文化財センターの事業の充実を図る。
- (4) 情報発信とネットワーク化の推進を図る。

2 重点施策

(1) 原始・古代史を学ぶ機会の提供

- ① 米子市等の考古資料を展示する常設展・企画展を開催し、原始・古代への関心を高める。
- ② 講座や外部講師による講演会の実施によって原始・古代への興味・関心を高める。
- ③ 市内外の史跡のガイドウォークの実施によって郷土の歴史への興味・関心を高める。
- ④ 体験教室・出前講座をとおして、「見て・触れて・作って」原始・古代への興味・関心を高める。

(2) 埋蔵文化財資料の整理・保管・調査研究

- ① 米子市の埋蔵文化財の出土品や記録の適切な整理・保管・調査研究を行い、良好な状態で次世代に継承するとともに、広く市民が活用できるよう努める。
- ② 未整理資料や寄贈資料を整理し、整理報告書として刊行に努める。

(3) 情報の発信

- ① 発掘調査や研究の成果をふまえ、米子市等の原始・古代史の最新情報を発信する。
- ② 遺跡の情報をわかりやすいシートやリーフレットにして発信する。

(4) 連携事業の促進

- ① より多くの人々に関心を持ってもらうために、当財団の各施設をはじめ、歴史関係施設との連携に努める。
- ② 米子市、山陰歴史館、上淀白鳳の丘展示館、むきばんだ史跡公園との連携に努める。
- ③ 鳥取県ミュージアムネットワークに加盟して、県内施設との連携に努める。
- ④ 米子市の米子城跡などの史跡活用事業との連携協力に努める。

3 主要事業計画書（平成 30 年度）

	事業名	目的・内容	実施時期・回数
展 示	常設展示 「米子の原始・古代」 (福市考古資料館)	福市・青木遺跡などの米子市内の遺跡から出土した、代表的な考古資料や写真パネルを年代別に展示し、小学生から一般市民まで幅広く原始・古代の米子の歴史を学習する機会を提供します。観覧無料	通年 随時一部展示 替えを行う
	企画展示 「古墳時代の米子」 (福市考古資料館)	米子市内の古墳時代遺跡をパネルで紹介するとともに、古墳から出土した鉄器や鏡、玉類を展示して古墳時代の歴史を振り返る。観覧無料	年 1 回 [10 月 11 日(木) ～ 12 月 10 日 (月)]
	常設展示 「米子の遺跡と発掘調査」 (埋蔵文化財センター)	米子市内の遺跡から発掘された出土品の展示と、発掘調査の方法を通して、米子の原始古代の歴史や文化財保護への理解を深める展示を行います。観覧無料	通年 随時一部展示 替えを行う
教 育 普 及	出前展示 「日南町の遺跡を掘る」 (埋蔵文化財センター)	日南町で行われた発掘調査の展示会を開催する。期間中ギャラリートークを 1 回開催する。共催 日南美術館	年 1 回 [9 月 21 日(金) ～10月7日(日)]
	史跡ウォーク 「尾高を歩く」 (埋蔵文化財センター)	尾高城から大神山神社、観音寺、尾高の街並みや石塔を解説して巡る。資料代 100 円	年 1 回 [4 月 8 日(日)]
	考古学講演会第 1 回 「古墳時代の米子」 (埋蔵文化財センター)	講師に鳥取県埋蔵文化財センターの梅村氏を迎えて、古墳時代の米子についての講演会を行う。資料代 100 円 (米子市文化ホール)	年 1 回 [9 月 1 日(土)]
	考古学講演会第 2 回 「鳥取県の埴輪」 (埋蔵文化財センター)	講師に鳥取県埋蔵文化財センターの東方氏を迎えて鳥取県の埴輪について講演会を行う。資料代 100 円 (米子市文化ホール)	年 1 回 [10 月 13 日(土)]
	考古学講演会大 3 会 「米子の古墳を掘る」 (埋蔵文化財センター)	講師に鳥取県埋蔵文化財センターの下江氏を迎えて米子の古墳について講演会を行う。資料代 100 円 (米子市文化ホール)	年 1 回 [11 月 17 日(土)]

教育普及	考古学教室第1回 「土笛づくり」 (福市資料館)	小学生を対象とした考古学教室として、土笛づくりを行う。 参加費 100 円	年1回 [7月29日(土)]
	考古学教室第2回 「弓矢・火起し体験」 (福市資料館)	小学生を対象とした考古学教室として、弓矢・火起し体験を行う。 参加費 100 円	年1回 [8月4日(土)]
	勾玉・石包丁・火起こし体験 (福市考古資料館)	勾玉作り等を希望する来館者に指導して体験してもらう。 材料代 有料	随時受付
	出前講座 (埋蔵文化財センター)	派遣を希望する学校・公民館などへ出向き、実物の土器や石器などを持参して、米子の歴史や遺跡についての解説を行います。また、勾玉作り等古代体験も出前する。 講師料 無料 材料代 有料	随時
	当財団施設連携事業 (埋蔵文化財センター)	米子市と協力して、財団の管理・受託する施設が連携して事業を実施する。	実施日 未定
調査研究	資料の調査・研究・保管・管理・貸出 (埋蔵文化財センター)	埋蔵文化財センターに収蔵されている、過去の発掘調査で出土した考古資料や、寄贈された資料の調査・研究・保管・管理・貸出・資料見学者への対応業務を行います。	随時
情報発信	「米子市埋蔵文化財センターたより」などの発刊 (埋蔵文化財センター)	発掘調査の情報、貴重な収蔵品の紹介やセンター、資料館行事などの情報提供を行うとともに、普及印刷物の発行を行う。	たより年4回 普及書 随時
	施設・行事情報の提供	ホームページなどを活用した施設情報の提供を行う。	随時
連携	連携の促進	米子市文化課や山陰歴史館、上淀白鳳の丘展示館、むきばんだ史跡公園などとの事業連携を行う。	随時

平成 29 年度 上淀白鳳の丘展示館の組織体制及び事業報告書

1 組織体制

館長（非常勤）	1 人	
副館長（常勤）	1 人	
学芸員兼企画員（常勤）	1 人	
スタッフ（非常勤）	2 人	合 計 5人

2 事業の実施状況

(1) 入館者数

区 分	一 般	高・大学生	中学生以下	合 計
人 数	2,756 人	88 人	191 人	3,035 人

（平成 30 年 2 月 28 日現在）

(2) 主な事業概要

区分	事業名	実施状況	備考
自 主 事 業	上淀白鳳の丘 展示館企画展	<p>上淀白鳳の丘展示館の多目的室において、次の企画展を実施した。</p> <p>①上淀廃寺復元壁画の原画展 平成 29 年 4 月 29 日から 5 月 7 日まで（10 日間） （入館者数:213 人）</p> <p>②写真でたどるよどえのあゆみ展 平成 29 年 10 月 7 日から 12 月 3 日まで（58 日間） （入館者数:505 人）</p> <p>③ダンボールクラフト復元模型展 平成 30 年 2 月 1 日から同月 12 日まで（12 日間） （入館者数：92 人）</p>	別添チラシ 参照 別添チラシ 参照
	彼岸花の里づくりプロジェクト事業	<p>上淀廃寺への関心と理解を深めるとともに、史蹟の保全と景観形成、上淀エリアの魅力アップ等を目的に今年度も彼岸花の里づくり事業を実施した。また、この事業は、今年度の日本海新聞主催の米子市地域貢献賞に選ばれた。</p> <p>【主な事業】</p> <p>①彼岸花の採取・植栽事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間 平成 29 年 4 月から 6 月（3 回） ・実 績 植栽球根数 約 3,000 個 <li style="padding-left: 40px;">球根提供者及び植栽ボランティア 約 90 人 <li style="padding-left: 40px;">※一般の植栽ボランティア以外に大和保育園児及び白鳳高校の生徒による植栽事業も実施 <p>②彼岸花まつり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成 29 年 9 月 23・24 日 ・実施場所 国史跡上淀廃寺跡 ・事業内容 休憩所及びお茶席の設置、マルシェ、コ 	別添チラシ 参照 別添写真 参照

自 主 事 業	彼岸花の里づくりプロジェクト事業	<p>ンサート、ウオーク、フォト教室等 ※天候にも恵まれ、両日を中心とした開 花時期来場者数=約 1,200 人</p> <p>③彼岸花の里俳句大会 ・期 間 9月15日～同月30日 ・応募句 128句(53人)</p> <p>④彼岸花のある風景フォトコンクール ・期 間 9月17日～10月20日 ・応募作品数 83作品(36人)</p> <p>⑤フォトコンクール応募作品・俳句大会投句巡回展 ・上淀白鳳の丘展示館(12月9日～同月24日)、 米子市立図書館(1月6日～同月21日)で開催した。</p>	
	啓発・情報発信事業	<p>①マスメディアを積極的に活用し、彼岸花の植栽事業や彼岸花祭り、企画展などの情報がテレビ、新聞、ラジオ、ミニコミ誌等によって、度々紹介された。</p> <p>②「山陰の考古学のあけぼの」(淀江公民館)、「上淀廃寺の仏像」(大和公民館)などの出前講座を行った。</p> <p>③淀江小学校3年生の校外授業の一環として、展示館内外で「遺跡」をテーマにしたガイドを行った。</p> <p>④俳句大会の句集の中に、上淀廃寺や石馬などに関する情報を掲載した。</p> <p>⑤米子市立図書館の市民ギャラリーでフォトコンクール応募作品・俳句大会作品展を開催し、彼岸花の里づくり事業の紹介をした。</p> <p>⑥平成29年12月22日に奈良文化財研究所で開催された「遺跡整備・活用研究集会」の中で、彼岸花の里づくりプロジェクト事業を事例発表し、併せて上淀廃寺やこのエリアの史跡を全国に紹介をした。</p>	
	館内及び周辺史跡ガイド事業	<p>①団体・個人を問わず、入館者に対する館内ガイドを積極的に行い、展示館の魅力とPRに努めた。</p> <p>②入館者及びこのエリアへの来訪者の要望に応じ、周辺史跡(向山古墳群、石馬、上淀廃寺跡)ガイドを、通年をとおして積極的に実施した。</p> <p>(周辺史跡ガイド:127回 1,213人)</p>	

連 携 事 業	とっとり文化遺産魅力発掘プロジェクト事業	<p>鳥取県立むきばんだ史跡公園や米子市教育委員会等を構成メンバーとするプロジェクト実行委員会の中で、地域の連携の強化とこのエリアの魅力アップのために、次の事業を実施した。</p> <p>①トークプレイス（3月4日開催） 上淀廃寺から出土した鴟尾に着目し、「鴟尾が物語る上淀廃寺」をテーマにしたトークプレイスをむきばんだ史跡公園の弥生の館むきばんだで開催しました（参加者：約50人）</p> <p>②「よどえまるごと道草日和」の中で、国の選択無形文化財「上淀八朔綱引き」現地見学ツアーを実施した。（参加者：19人）</p>	別添チラシ参照
		③よどえまるごと道草日和 2017 フォーラム「淀江の怪」（3月17日開催）の関連イベントとして淀江文化センターで「よどえ今昔写真展」を実施した。	別添チラシ参照
	伯耆古代の丘公園・どんぐり館連携事業	<p>①伯耆古代の丘公園と連携して、夏休み期間中（7月21日～8月24日）に、淀江小学校の児童を対象にした「白鳳の丘クイズラリー」を実施した。</p> <p>②伯耆古代の丘公園への入園者、どんぐり館の食事客、ゆめ温泉の入浴客を対象にした入館サービス券の発券を行い、施設間の相乗効果を図った。</p>	
	その他の連携事業	<p>①米子・日吉津商工会の「地域貢献アピールプラン事業 やつぼかめ山茶摘み・緑茶づくり」イベントや「よどえまるごと道草日和」イベントの中で、つぼかめ山の歴史や魅力を紹介した。</p> <p>②「むきばんだ日和（4～5月）」、「よどえサイクリングカーニバル（9月）」、「むきばんだ祭り（9月）」などこのエリアで開催されたイベントと連携して展示館への入館サービスやPRを実施した。</p>	

平成 30 年度上淀白鳳の丘展示館の組織体制及び事業計画

1 組織体制

館長（非常勤）	1	人	
副館長（常勤）	1	人	
学芸員兼企画員（常勤）	1	人	
スタッフ（非常勤）	2	人	合計 5人

2 事業計画

(1) 基本方針

前年度に引き続き、国史跡上淀廃寺跡のガイダンス施設としての機能を充実させるとともに、貴重な史跡が集積しているこのエリアの知名度や関心度を高めることを基本方針とします。そのために、米子市をはじめとする関係機関・団体などと連携して上淀白鳳の丘展示館及びその周辺エリアへの誘客活動と情報発信をこれまで以上に積極的に推進します。

(2) 主な事業

区分	事業名	目的・内容	実施時期
自主事業	上淀白鳳の丘展示館企画展	古代史の宝庫としてのこのエリの魅力を高めるために、展示館の多目的室において、このエリアに存する歴史遺産（史跡、出土品、民俗等）をテーマにした企画展を開催します。また、昨年に引き続き、ゴールデンウィークの期間中に『復元壁画の原画展』を開催します。	4月 8月 1月予定
自主事業	彼岸花の里づくりプロジェクト事業	このエリアの魅力アップと来訪者の増加を狙いとしてスタートした彼岸花の里づくりプロジェクト事業は、マスコミをはじめ多くの人々の注目を集め、その効果が期待され、また集客力が高まっています。 事業を始めて5年目となる平成30年度においても、これまでの経験と実績を活かし、行政機関、関係諸団体等と連携を図りながら彼岸花の植栽事業と彼岸花まつりを中心にして彼岸花の里づくり事業を推進します。	4～10月
自主事業	啓発・情報発信事業	○上淀廃寺を中心とする淀江エリアの理解と関心を高めるため、積極的な出前講座の実施や公民館や小・中学校における校外学習の利用促進を図ります。 ○広報活動の充実と効率化を図るために指定管理の2施設（淀江ゆめ温泉、古代の丘公園）とどんぐり館で、共同のホームページ、ポスター、チラシなどを作成します。 ○米子市立図書館の市民ギャラリー等の展示館以外の施設を利用した広報活動の充実に努めます。	随時 随時

	館内・周辺史跡ガイド等事業	<p>展示館の館内ガイドにとどまらず、このエリアの魅力も多くの方々に知っていただくために向山古墳群、石馬、上淀廃寺跡等の周辺史跡等のガイドを実施します。</p> <p>また、妻木晩田ボランティアガイドの会と連携して史跡ガイドの養成に取り組みます。</p>	随 時
連 携 事 業	とっとり文化遺産魅力発掘プロジェクト事業	<p>隣接する国史跡妻木・晩田遺跡との相乗効果を高め、このエリアの魅力アップにつなげるために、むきぼんだ史跡公園（県）や米子市と連携して「とっとり文化遺産魅力発掘プロジェクト事業」に積極的に参加し、その中でトークプレイスやよどえまるごと道草日和等企画・実施するとともに、各種イベントの際には相互に協力し合い、展示館のPRや誘客活動に努めます。</p>	9～11月頃
	地域内連携事業	<p>米子日吉津商工会等の地域内の団体と連携を図り、サイクリングカーニバル、夏休みこどもクイズラリー、美水の郷秋麗ウオーク等のイベントに協力しながら、上淀白鳳の丘展示館、国史跡上淀廃寺跡などの活用と利用促進を図ります。</p>	随 時
	温泉・公園・展示館・どんぐり館共同事業	<p>伯耆古代の丘公園、ゆめ温泉及びどんぐり館で開催されるイベントに積極的に参画し、白鳳の里エリアの賑わいの創出や来訪者の増加に努めます。</p>	随 時